

# 浄化槽ナビゲータ

2017年度 環境活動レポート



2018年4月10日

道東地方環境整備興発株式会社



## ■ 目 次

---

【1】 環境方針

【2】 事業概要

【3】 環境活動

## ■ 環境方針

### 【基本理念】

私達は事業活動から生じる、様々な環境への影響を低減することにより、「自然環境保護に貢献する企業」の実現に向けて、積極的に環境問題に取り組むことが社会的使命と考え、社員一人一人が協力し、継続的な環境負荷の低減に努めます。またこの活動を通じて、地域に信頼され、地域に根ざした企業としてあり続けるため社員全員が誠実で安心のできる技術の向上に努めるとともに、人間的成長を目指し活動していきます。

### 【基本方針】

1. 事業活動に関わる法的・社会的要求事項などの遵守に努め、環境の保全や向上を図ります。
2. 事業活動から生じる環境負荷の低減を図るため、リサイクル活動及びグリーン購入の推進に努めます。
3. 地域貢献活動として、地域の清掃活動を定期的に行います。
4. 積極的に技術の習得・向上に努め、よりよいサービスの提供を目指します。
5. 環境方針は、社内に掲示し、全従業員に周知徹底するとともに、社外に公開します。

平成23年4月1日

道東地方環境整備興発株式会社

代表取締役 笹谷 稔

## 事業概要

### 1. 名称及び代表者名

道東地方環境整備興発株式会社

代表取締役 笹谷 稔

### 2. 所在地

本社 〒093-0046 北海道網走市新町3丁目146番地3

小清水支店 〒099-3614 北海道斜里郡小清水町字美和468番地

斜里支店 〒099-4114 北海道斜里郡斜里町字朝日町22

終末処理場事業所 〒099-4144 北海道斜里郡斜里町字大栄

### 3. 設立

昭和48年4月16日

### 4. 資本金

1500万円

### 5. 従業員数

19名

### 6. 事業内容

浄化槽・農業集落排水処理施設の維持管理及び清掃

し尿処理施設の維持管理及び清掃

公共下水道処理施設の清掃

産業廃棄物の収集運搬業

道路側溝及び路面の清掃

下水道管渠及び給排水管の清掃

廃バッテリーのリサイクル回収業

し尿収集運搬業

### 7. 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 浄化槽管理課長 荒木 直也 TEL : 0152-62-3422

担当者 浄化槽管理課長 荒木 直也 FAX : 0152-62-3449

### 8. 関連法規違反、訴訟等の有無

無し

## 環境活動

### ● 浄化槽維持管理・清掃業務を中心に実行しているエコドライブの取り組み項目

#### ① ふんわりアクセル『eスタート』

やさしいアクセル操作により、燃費の向上と安全運転を心がけます。



#### ② 加減速の少ない運転

車間距離に余裕をもち、できるだけ速度変化の少ない安全な運転をします。



#### ③ 早めのアクセルオフ

停止位置がわかったら、早めにアクセルから足を離してエンジンブレーキで減速します。



#### ④ エアコン・暖房の使用を控えめに

気象条件に応じて、こまめに温度・風量の調整を行い、車内を冷やし過ぎ、暖め過ぎないようにします。



#### ⑤ アイドリングストップ

無用なアイドリングをやめ、燃料の浪費を避けます。



#### ⑥ 暖気運転は適切に

特別な状況を除き、エンジンをかけたらずぐに出発します。



#### ⑦ タイヤの空気圧をこまめにチェック

タイヤの空気圧を適切に保つなど、確実な点検・整備を定期的実施します。



#### ⑧ 不要な荷物は積まずに走行

運ぶ必要のない荷物は車から下ろし、燃費の悪化を避けます。





# 環境活動

## 【環境目的】

浄化槽の維持管理を通じて水環境保全に努めると共に、事業活動に伴う環境負荷の低減や環境改善を図る。

## 【環境目標】

- 1) 浄化槽法定検査結果の適正比率向上を図る。

【具体的項目】

浄化槽法7条、11条検査結果での不適正比率を4%以下に抑える。

- 2) 浄化槽法定検査不適合物件を対象に是正措置を実施し、50%水質改善を図る。

- 3) 使用エネルギーの抑制を図る。

【具体的項目】

維持管理巡回車の一物件当たりの走行距離を1.1km以下に抑える。

## 1. 具体的な実施内容と結果

年度	平成29年度			平成28年度			平成27年度		
具体的項目	通期計	上期計	4~6月	通期計	上期計	4~6月	通期計	上期計	4~6月
		7~9月	7~9月		7~9月	7~9月		7~9月	
		下期計	10~12月		下期計	10~12月		下期計	10~12月
		1~3月	1~3月		1~3月	1~3月		1~3月	1~3月
① 11条検査不適正比率を5%以下に抑える	3.20%	4.0%	0%	2.40%	5.40%	0.0%	3.80%	4.20%	0.0%
			4.0%			8.0%			4.2%
		3.0%	0%		2.20%	0%		3.80%	0%
② 法定検査不適合物件を是正改善する	61.5%	100%	0%	75.00%	50.0%	0%	70.60%	100%	0%
			100%			50.0%			100%
		60.0%	60.0%		77.80%	77.8%		68.70%	68.70%
			0%			0%			0%
③ 巡回車の一物件当たりの走行距離を抑える	10.4km/件	10.31	10.14	10.9km/件	10.79	10.53	10.84km/件	11.09	10.83
			10.48			11.05			11.34
		10.49	10.46		11.01	11.37		10.59	10.72
			10.52			10.65			10.47

## 2. 環境管理指標

年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
1. 従業員	142	142	142
2. エネルギー使用量	87	88	93
3. CO <sub>2</sub> 排出量	87	88	93
4. 処理水量	101	100	101
5. 処理水量/CO <sub>2</sub> 排出量	117	114	108

【注意】

(1) 上記指数は平成22年度を100として算出

## 環境活動

### 3. 具体的な取り組み内容

省エネの啓発



### 4. 地域貢献活動

公道清掃活動



除雪ボランティア



## ■ 最後に

---

当社は、基本方針に基づく、環境目的・環境目標に対する活動をPDCA（継続的改善サイクル）の運用により実施して参ります。同時に、その活動状況を環境活動レポートを作成し、定期的に公開して参ります。

平成30年4月10日

道東地方環境整備興発株式会社

代表取締役 笹谷 稔